



コトネアスター類

常緑・半落葉／低木／木本植物
／外来種・園芸品種



科名 バラ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い

細かい葉と秋に赤く成熟する実が魅力。匍匐(ほふく)性の園芸品種が多くあり、寄せ植えの一部やグラウンドカバーに適している。上から下垂させると、法面や擁壁、石積の緑化も可能。刈り込みに適応し、萌芽力があるので、枝を誘導して好みの形に仕上げることができる。



Memo

ピラカンサに似ているが、コトネアスターの葉には鋸歯がなく、枝には刺がないことで判別できる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期					■								
果 実		■									■		
紅 葉													
施 肥		■							■				
剪 定		■						★★					

★: 花芽分化の時期 (分化後に剪定すると花付が少なくなる)

好みの環境					
日 当 り	陽	○	○	○	陰
土 壌	乾	○	○		湿
寒 さ	強	○			弱
暑 さ	強	○			弱
潮 風	強		○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○					○

ポイント

日陰地でも適応し枝を伸ばす。枝の分岐も多く、好きな方向へ誘導することが可能。放任してもほとんど手間がかからない。刈り込みの縁取りや低い寄せ植えに適している。

剪定

徒長枝の切り戻しと枝の誘引がポイント。萌芽力があるので適宜刈り込むと美しい仕上がりになる。古い枝は付根から切除し枝の更新をする。長い枝は2/3ほど切りすと、新しい枝を密生させる。

病虫害

病虫害は少ない。